

# ながぬま

迎春





# 新年ご挨拶



ながめま農業協同組合

代表理事組合長 成田 正夫

組合員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様には、輝かしい平成29年の新年をご健勝で迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。

また、平素より当農協が行います事業に対しまして、事業推進員さんを通じ特段のご理解ご支援を賜っておりますことにお礼と感謝を申し上げます。

さて、昨年は春先から積雪も少なく4月・5月も好天に恵まれ、順調に農作業が行われましたが、その後、長雨と日照も少なく6月の降水量は平年の3倍(202.5mm)に達し、また、7月下旬から9月上旬にかけては平年の2倍以上(338mm)となりました。さらに、北海道

は8月以降4回にわたる台風の接近・上陸により集中豪雨・風害等の災害に見舞われ、上川・十勝地方で甚大な被害が発生し、農家経営に大きな打撃を与えました。長沼町においても豪雨により一部ほ場で浸水となるなど、農作物の生育に大きな影響があり、私たち農業者にとって大変な1年となりました。

水稲については、作況指数「南空知102」(北海道102)となり、量・質ともに期待されましたが、タンパクが高い状態で干粒重がやや軽く、玄米歩合が前年産より低かったことから、実質的な収量は平年並みからやや少ないといった状況となりました。

小麦については、6月の長雨による日照不足で登熟が遅れ、収穫前の降雨により一部ほ場で

は倒伏や品質低下が見られるなど、麦バラ施設における小麦受入重量は1万2836トン、計画対比98.6%となりました。また、施設調整後においては、容積重の関係から製品歩留まりが低下した状況となりました。

大豆は、受入計画の81.5%、4836トンを実施受入し、1〜2等格が全体の約4割となり品質も全般的に小粒傾向で大きく減収となりました。

野菜についても、総じて長雨の影響を受け路地野菜の品目(ブロッコリー・白菜など)によっては一部生育遅れで廃耕となるなど収量が減収したことから販売高は減少となりました。

一方、農協事業については、生産施設集約化に向けた事業で平成27年5月に蔬菜集出荷施設が完成し順調に稼働しており、昨年8月には低温農業倉庫の建設に着手し、本年5月の完成に向けて工事を進めています。生産者の農産物貯蔵保管に大きく寄与する施設であり保管管理体制が改善されることとなります。

進会議では「暴論」ともとれる農協批判もありますが、JAグループ北海道は「1円でも多く生産者手取りを確保し、1円でも安く資材を供給する」という目標に向かい、組合員の経営の安定と暮らしの安心を確保し地域農業の振興・発展に向けて取組みを加速していかねばなりません。

農協は、「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助精神のもと、「組合員による組合員の組織」として各種事業を展開してまいります。今後もより一層、ながめま農業の価値を高め、魅力あるものにするために、「力強い農業と活力ある地域の実現に向けて」関係機関と連携し、事業推進に取組んでまいりますので、組合員皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

迎えた本年が豊かで実り多き明るい年となりますよう心からご祈念申し上げます。挨拶いたします。



## 謹賀新年

二〇一七年元旦

ながめま農業協同組合

会長理事 内田 和幸  
 代表理事組合長 成田 正夫  
 専務理事 柴田 佳夫  
 常務理事 飛谷 博秀  
 総務・経済対策委員長 中原 幸弘  
 営農委員長 堂林 克敏  
 副委員長 大澤 誠治  
 営農副委員長 富澤 正雄  
 理事 服部 正幸  
 理事 松井 昭洋  
 理事 川口 学志  
 理事 小野 功治  
 理事 北弘 治

代表 監事 佐々木 博美  
 常勤 監事 仲山 幸雄  
 監事 井形 聡  
 監事 川崎 喜昭  
 管理部統括部長 松本 豊  
 営農経済部長 藤本 勉  
 統括部長 細川 秀樹  
 管理部総務部長 松村 裕二  
 営農経済部長 岩崎 徹  
 営農部長 高瀬 好之  
 営農経済部長 高瀬 好之  
 販売部長 森 正敏  
 営農経済部長 森 正敏  
 資材部長 伊藤 盟  
 北長沼支所長 伊藤 盟  
 舞鶴事業所長 高田 久士  
 営農コンサルタント 桜田 千代司  
 営農コンサルタント 村井 忠夫  
 外職員一同



# 平成29年の年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会

会長 飛田稔章

組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい平成29年の新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の北海道農業は、春先からの天候不順、8月中旬から相次いで上陸・接近した4つの台風の影響により、河川の氾濫、農地の流出、関連施設の損壊、停電による生乳廃棄など、全道各地で甚大な農業被害が発生しました。

現在もその傷跡は依然として深く残っており、復旧・復興に向けた懸命な努力が続けられているところです。

JAグループ北海道は、その責任感と自負心のもと、あらためて協同と相互扶助の精神に立ち返った中で、現下のさまざまな課題を克服すべく、力を合わせていく時であります。さらに農業・JAに対する幅広い理解と共感を得るべく道民550万人サポーターづくりの取組みを積極的に進めながら、自己改革を加速させ、長年にわたり先人が築き上げてきた本道農業並びにJAの基盤をさらに発展させ、後世に継承できるよう努力してまいります。

結びになりますが、今年の干支は丁酉（ひのととり）です。

一説には、丁は、「安定する」という意味があり、酉は「果実などが成熟し実る状態」を表していることでもあります。

今年は、この酉年にあやかり、天候に恵まれ実り多い安定した一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げます、新年にあたってのご挨拶といたします。



今後とも、JAグループ北海道は、組合員の皆様や夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートいたします。

また、全農改革を始めとする農協改革並びに指定生乳生産者団体制度のあり方を含めた農業競争力強化プログラムの取り纏め、次期米国大統領ドナルド・トランプ氏のTPP離脱・日米二国間交渉の表明、EUとのEPA交渉の動きなど、我が国の農業・JAにとって先行き不透明感が増大する情勢変化があった一年でした。

JAグループ北海道は、今後とも必要な農政運動や国民理解へ向けての情報発信、JA経営の基盤を強化し、組合員の皆様の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応を図って参ります。

## 新年のご挨拶



空知農業改良普及センター  
空知南西部支所  
支所長 宗像 政美

新年明けましておめでとうございます。希望に満ちた平成29年の新春をご家族とともに迎えられることを心からお慶び申し上げます。

昨年は雪解けが非常に早く、融雪期は3月20日と平年より14日早いスタートとなりました。その後の4～5月の気象条件はほぼ順調であり、耕起・種作業はやや早めに始まりました。

しかし、6月は一転し、異常な日照不足と長期に渡る断続的な降雨により、水稲の分けつは大幅な遅れ、大豆の生育停滞・湿害の発生が散見されました。

その後、天候は回復したものの、平年作をカバー出来る生育量までに至ることはできません。水稲の実りを左右する重要な期間である冷害危険期・開花期が無難に経過出来たことが救いでもありました。

8月・9月の暴風や台風の上陸による大きな災害は無かったものの、作物全体に対する湿害が発生するなど、昨年も気象変化の激しい年となりました。

応を図って参ります。

さて、現在、JAグループ北海道は、第28回JA北海道大会のメインテーマである「北海道550万人と共に創る 力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現に向けた決議事項に基づき、その着実な実践を図っているところです。

昨年はJAグループ北海道の実践状況について、全体共有を図るとともに実践への機運を高め、JAグループ内外に実践状況を発信すべく、JA北海道大会実践フォーラムを開催いたしました。

引き続き、JAグループ北海道の英知を結集し、北海道550万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指してまいります。

関係各位の特段なるご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

一方、農業情勢では、世界規模での異常気象の発生、人口増加、経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は常に不安定な要因を抱えており、我が国として、先を見据えた中で食料自給率の確保などによる食料の安全保障体制をいかに確立していくかが問われています。

言うまでもなく、農業は、食料の安定供給という、国民生活に欠かすことができない極めて重要な役割を担っている生命産業であり、その役割は未来永劫変わることはありません。

このように極端な気象が続く厳しい条件下にあっても、水稲・麦類などはほぼ平年並の収量・品質を確保出来たことは、ご家族や地域が力を合わせ、弛まぬ努力と長年にわたる土づくりなどへの取組みや、高い生産技術があつてこそその結果だと敬意を表します。

農業を取り巻く環境は大きな変革の時を迎え、TPPの大筋合意がなされたものの米国次期大統領の発言により迷走中です。国内外の農業に与える影響が懸念される中、農業経営の安定化や攻めの農業への取組みに関連した施策が盛り込まれたTPP関連政策大綱がまとめられています。

将来の見通しが不透明であり、また極端な気象が今後も続くと思われませんが、どのような状況下でも「地域の豊かな大地を守る」ことを基本として、各組織の力を活かした効率的な農畜産物の生産を目指すことが大切と思われれます。

普及センターとしましては、基幹作物の栽培管理を基本に各種試験や現地実証を行い、品質向上や効率的な生産に向けた普及活動を関係機関と連携しながら推進しております。

職員一同、今年も基幹作物の安定生産を第一に支援を行い、地域の農業振興に少しでも力添え出来ればと考えております。

皆様にとって輝かしく豊かな年となると共に、皆様のご多幸と益々のご発展をご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



## 女性部秋季研修旅行

11月20日～23日、京都・大阪方面へ3泊4日の日程で秋季研修旅行を実施し、24名が参加しました。初日の京都では「京扇子絵付け体験」をしました。2日目は天橋立ビューランドにて「股のぞき」で天橋立を望み、知恵の輪を狙って皿を投げ、願かけ出来る場所では大いに盛り上がりました。午後からは京都嵐山を観光、紅葉と重なり「渡月橋」の背景の山がとてもきれいでした。次に訪れた「平等院鳳凰堂」は圧倒される朱色と黄金の鳳凰がとても美しく京都の秋を感じる場所でした。3日目は自由行動で21名がUSJへ行き、たくさんのアトラクションに乗りパレードを見るなど一日を女学生のように満喫。



また、3名が奈良の東大寺や春日大社を参拝するなどこちらも歴史の様に満喫しました。最終日は日本一高いビルあべのハルカスの60階展望台から大阪を一望、造幣局博物館では、ここで



道頓堀でグリコの看板を見たこと、繁華街を全員で歩いたこと、宴会で最後に北海盆踊りを踊ったこと、大阪名物串揚げを食べたこと、4日間はアツと言う間に過ぎました。地区を超えて親睦を深めることが出来、たくさんのお土産と思いがつまった旅行になりました。

道頓堀でグリコの看板を見たこと、繁華街を全員で歩いたこと、宴会で最後に北海盆踊りを踊ったこと、大阪名物串揚げを食べたこと、4日間はアツと言う間に過ぎました。地区を超えて親睦を深めることが出来、たくさんのお土産と思いがつまった旅行になりました。



## フレッシヨミズ 後継者育成対策研修旅行

11月28日～29日、部員9名が参加のもと帯広方面へ研修旅行を実施しました。

帯広では世界でもここだけで見ることの出来ないばんえい競馬場へ行きました。競馬場では観光客向けに馬券の購入方法を説明する方が熱心に説明していて1Rだけ購入し、レースに臨みました。ばん馬の迫力と気になる勝敗。結果はさておき、今晚の宿「観月苑」へ、夕食は地元の野菜や乳製品を使った女性にはうれしい料理ばかりで、お部屋では楽しい会話がいつまでも続きました。

翌日は新得町のそばの館でそば打ち体験をし、打ったそばは昼食としていただきました。また、新得町内は夏の台風で河川が氾濫し壊れた道路が今も残っているなどその時の凄さを物語っていました。



午後からはほべつ地球体験科学館で地球が出来上がる工程や暑い砂漠やジャングル、また氷河期などを体験してきました。この時長沼は大雪でしたがフレッシヨミズは天気にも恵まれ充実した2日間となりました。

## 女性部 Aコープ酢料理講習会

12月2日、町民会館においてAコープ酢を使った料理講習会を行い部員36名が参加しました。

Aコープ酢製造の大興産業から講師を迎え黒豆を使った巻きずしや酸味のあるあかけラーメンや牛乳に酢を加えることでヨーグルト風味になるデザートなどを作り試食しました。薄めたお酢を食前にいただく食前酢などが巷では



注目されているそうです。体にいいものを取り入れて健康で過ごしましょう。



## 女性部なないろスプーン部会 お正月に作ってみたい料理

12月7日、部員17名が参加し、開催されました。



今回はお正月に作ってみたい料理と題して高野豆腐を使った含め煮と珍しい塩くじらを使ったたくじら汁、また健康を考慮して黒千石や

小豆などをいれた雑穀ご飯を作りました。初めて作る物、知っても食べたことがない物などを使うと、「こんなレシピは?」、「こうやってアレンジしては?」と新しいアイデアが次々と出ていきました。



## 女性部ライラック部会 オリジナルリースを作る

12月7日、部員20名でもうすぐクリスマスやお正月ということでリース作りをしました。松やオノコの枝や、庭で拾った松ぼっくりを付けそれぞれのリースが出来上がりました。一人ではなかなか出来ないリース作りが、仲間と楽しくワイワイしながら作ると愛着のある作品が出来上がり、次の集まりが待ち遠しくなるようです。







12月13日、北海道が主催する平成28年度女性・高齢者チャレンジ活動表彰事業の表彰式が、空知総合振興局で開かれ、マオイFood研究会(会長 間島良子さん)が優秀賞を受賞し、その報告に農協を訪れました。マオイFood研究会は、平成20年に長沼町のグリーン・ツーリズム事業で農家民宿活動に協力したことがきっかけで発足し、会員8人で活

動しています。

長沼町で開催している「人・まち・食・健康フェスタ」などのイベントに積極的に協力し、ながめま産農産物を活用したレシピの作成や、グリーン・ツーリズムでも活用できるように農家民宿を行う農家向けのレシピを作成し発信・提供することで地元食材の消費拡大に貢献しています。また、町内の給食センターよりながめま産農産物の提供依頼があり、計画的に出荷できるよう栄養士と検討会を行い、ヤーコンやさつまいもなど地元で作付されていなかった農産物などの栽培にチャレンジし、生産者より学生や児童に向けてビデオレターなども作成するなど、野菜の栽培や生育状況を教える食育活動も行っています。

農協の柴田専務より「グリーン・ツーリズム事業や給食センターでの活動を通じて、地域活性化に大きく貢献しています。今後のご活躍にも期待しています」と激励の言葉を述べられました。

## 『営農計画樹立』は家族ぐるみで!

本年も営農計画を樹立する時期となりました。この時期にじっくりと営農に取り組む基本方針を立てることが最も重要であり、また、各作物の生産性向上や気象条件などによる危険分散することも考慮し、作付品目などを計画する必要があります。

今年度の営農計画書作成にあたっては前年度の実績を踏まえ、肥料・農薬等の生産資材の効率的利用、コスト低減と経費の節約に努め家族ぐるみで実行可能な計画を樹立し経営の安定に努めていただきたいと思います。

なお、営農計画書の提出期日は2月10日までとなっておりますので、期日を厳守し提出くださいますようお願い申し上げます。

お問い合わせ 本所管理部組合員相談課 TEL88-2229 北長沼支所 TEL89-2031 舞鶴事業所 TEL84-2002

## 融雪剤散布による融雪促進

融雪は気温との関係が高く、3月上旬から融雪が急激に進みます。

降雨等によっても融雪が進みますが、大部分は雪面への日射(太陽熱の吸収)と空気からの熱伝導によるものです。

融雪剤散布による雪面黒化は、高い融雪促進が期待できます。

**融雪剤の散布適期は、3月1日以降早い時期が効果的。**

### 1 融雪促進の効果

積雪量が多い年ほど融雪促進の効果が大きくなるので、3月に入ったら直ちに融雪剤の散布を行ってください。

融雪剤による融雪促進効果は、散布時期や散布後の気象条件で異なりますが、通常では7~10日程度、条件が良い場合は10~15日程度促進します。

融雪剤散布による融雪促進効果の調査

区分	融雪剤散布日	融雪日	無散布区との差
融雪剤散布区	3月1日	3月25日	10日促進
無散布区	—	4月4日	

JAながめま調査

### 2 融雪剤散布量と散布方法

融雪剤の散布量の目安は下記の表を参考にして、積雪状態(雪質)や天候の推移を勘案して散布量を増減してください。

散布方法は、畑一面に均一散布よりも、ややムラまき(散布後に凸凹ができる)の方が効果が高く、かつ雪面上が凸凹の方が融雪は促進されます。

10a 当たり融雪剤散布量の目安

区分	資材名	散布量/10a
畑	防散融雪炭カル(粒) クミアイアッシュ・炭太郎	各資材とも30~60kgが目安
水田	珪カル(粒状)	融雪剤として30~60kgが目安

### 3 早期に融雪剤の注文・確保を行いましょ

お問い合わせ 本所資材センター TEL 88 - 2307・88 - 0278



**PREMIUM WEDDING FAIR**

エミシアで叶える 雨にも風にも負けない理想のウエディング  
1月15日・29日は 本格チャペル挙式&おもてなしパーティーを体験!

- チャペル模擬挙式でセレモニー体験
- 憧れドレス試着 & 人気の写真撮影会
- シェフが腕をふるう 無料メニュー試食
- やりたいことが見つかる会場見学

1月お申込限定 福袋プランが登場!!

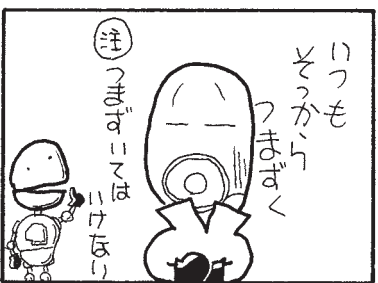
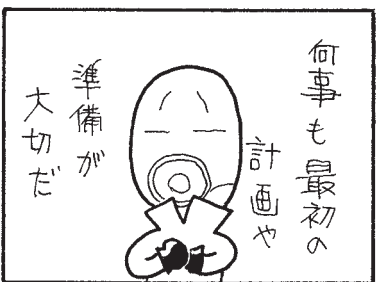
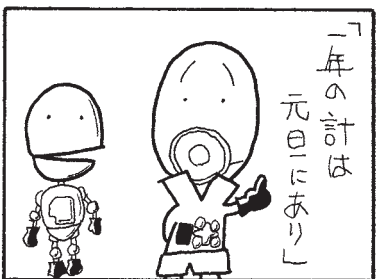
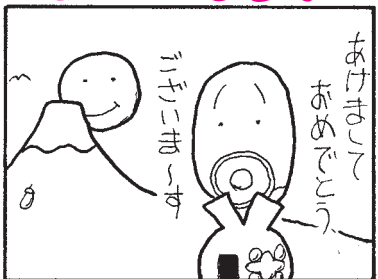
ご両家負担額 **10万円** 税込

- ◆ こだわりに合わせてセレクトできる挙式スタイル(チャペル・神前・人前式)
- ◆ 憧れを形にするウエディングドレス&タキシード(衣装料648,000円まで)
- ◆ 選べる12種のテーマコーディネート(クロス・ナフキン・タペストリーなど)
- ◆ パティシエと一緒にデザインするオリジナルウエディングケーキ
- ◆ 挙式から披露宴までプロが撮影する映像撮影(2時間編集 DVD お渡し) など

**ホテルエミシア札幌** 中心部から遠いけど駅チカ! 地下鉄新さっぽろ駅9番出口より徒歩1分  
〒004-0052 札幌市厚別区厚別中央2条5丁目5-25  
TEL: 011-801-2378 (ウエディングサロン直通 受付時間 10:00~19:00 ※1/1は休業日) MAIL: wedding.sapporo@hotel-emisia.com



# クミカン



## 健康管理講座 温泉湯治に参加しましょう!

農協では、組合員とその家族を対象に高齢者健康管理講座を下記の要領で実施します。  
多数の方が参加されますようご案内申し上げます。



～ 実施要領 ～	
1. 対象者	ながめま農協の正組合員・家族であり、町内在住の満60歳以上の方
2. 実施期間	平成29年2月13日(月)～17日(金) (4泊5日)
3. 募集人員	40名程度
4. 研修先	登別温泉ホテル まほろば
5. 研修内容等(予定)	湯治、健康管理についての講演・血圧測定、学生落語、カラオケ等
6. 参加料金	個人負担 35,000円
7. 申込期日	平成29年1月31日(火)まで
8. お申し込み先	農協本所 営農経済部営農企画課 TEL 88-2232 (持病のある方は申込時に報告してください)
9. 参加料金納入	組勘・普通口座より引落しさせていただきます

## 営農用石油特別価格対策の実施について

燃料センター系統石油事業では、営農コストの低減を図るため、農業用免税軽油と米麦乾燥などの農業用灯油について、特別対策を実施しております。

平成28年度につきましても、取扱実績に対して、次の通り値引き修正をもって、特別価格対策を実施いたしましたのでお知らせいたします。

12月16日付で、各々のクミカンまたは普通貯金に修正経理いたしました。

品名	免税軽油	農業用灯油
対象期間	4月1日～11月30日	7月1日～11月30日
値引修正(1ℓ当り)	4円	4円

お問い合わせ 長沼燃料センター TEL 88-2015



## 岩見沢税務署からのお願い

税務署での税金に関する相談で、関係書類や事実関係など、具体的内容を確認させていただく必要がある「個別相談」については、事前に電話にて相談日時を予約していただく「事前予約」をお願いしています。

このうち、資産課税(相続税、贈与税、譲渡所得)に関する「個別相談」については、相談日を設けて「事前予約」を受け付けておりますので、ご協力をお願いいたします。

## 相続税 贈与税 譲渡所得 の個別相談について

資産課税(相続税、贈与税、譲渡所得)の平成29年1月～3月の個別相談日は次のとおりです。

1月12日(木)	1月26日(木)		
2月9日(木)	2月16日(木)	2月23日(木)	
3月2日(木)	3月9日(木)	3月16日(木)	3月23日(木)

### 予約の方法

- 個別相談の予約 岩見沢税務署 (0126-22-0810 音声案内「2」)
- 一般相談 電話相談センター (0126-22-0810 音声案内「1」)



岩見沢税務署 (☎代表0126-22-0810)

## 家の光

「家の光」は毎日の生活に役立つ、家族みんなが楽しめる月刊誌です。

購読  
しませんか?



### 暮らしに役立つ連載企画 (2016年12月号～)

- エダモンの産直レシピだもん!
- JAなるほど質問箱
- まんがで丸わかり お助け! 家計防衛隊
- そうだったのか! 畑のサイエンス
- 瀬尾幸子の 野菜がうまい! おつまみ道場
- 農作業の凝りを解消! 畑ヨ〜ガ

### 年6回別冊付録が付きます!

料理や健康、野菜作りなどバラエティーに富んだテーマでお届け!



※写真の別冊付録は28年のものです。

人・JA・地域が元氣  
**家の光**

- 定価(税込)
- 普通月号 617円
- 付録月号(1・4・5・7・9月号) 906円
- 第一・第二別冊付録付き12月号 1,008円

■お問い合わせ  
営農経済部 営農企画課  
TEL 88-2232

※記事タイトル・内容は変わることがあります。

## 理事会報告 - 第13回 -

《平成28年12月17日開催》

### [ 議 案 ]

- 第1号 平成29年度営農計画に係る農産物価格の設定について
- 第2号 平成29年度営農説明会の開催について
- 第3号 事業推進員会議の開催について
- 第4号 規程の制定及び改廃について
- 第5号 組合員の資格変更並びに出資金減口について
- 第6号 平成28年度決算見込みについて(11月末現在)
- 第7号 年末賞与の支給について

### [報告事項]

1. 会議行事報告について
2. 長沼町まちづくり懇談会要望事項について
3. 平成28年度(一社)北海道農協経営審査協会の内部審査報告及び改善方策について(7～11月実施分)
4. 不祥事未然防止対策の取組み(11月)及び子会社経営定期点検実施報告(10月～11月)について
5. その他

以上、すべての議案について審議し原案通り承認されました。



### 今月の組合員数

組 合 員 1,619名  
 正 組 合 員 ( 840名)  
 准 組 合 員 ( 779名)  
 正組合員戸数 751戸

## 農協の動き 11/28～12/17

### 11月

28日	長沼町開基130周年推進委員委嘱状交付	於 町民会館
28～30日	農業農村設備事業推進中央要請	於 東京都
29日	空知管内農協組合長会議	於 空知農業会館
29日	空知種いも協議会	於 空知農業会館
29～12月2日	(一社)北海道農協経営審査協会 内部審査	於 農 協
30～12月2日	国営農地再編整備事業中央要請	於 東京都

### 12月

1日	空知地区農協生産資材事業推進協議会	於 空知農業会館
1～3日	南々空知米生産流通協議会役員研修	於 東京都他
5日	J Aバンク北海道空知地区委員会	於 空知農業会館
6日	J A空知管内監事協議会役員会	於 空知農業会館
6～9日	地区懇談会	於 各地区会館
12日	商工会役員・農協役員意見交換会	於 いわき
13日	空知管内J A常参総会議	於 空知農業会館
13日	空知玉葱共販協議会	於 空知農業会館
14日	空知管内J A専務会議	於 空知農業会館
14日	空知青果物振興協議会	於 空知農業会館
15日	空知管内農協管理部課長会議	於 空知農業会館
15日	常勤監事 無通告監査(組織会計)	於 農 協
15日	第2回タンチョウも住めるまちづくり検討会議	於 札幌市
16日	監事会	於 農 協
16日	青年部営農懇談会	於 農 協
17日	総務・経済対策委員会	於 農 協
17日	理事会	於 農 協

初売りの 2017 1月4日(水)

あさ10時から

Aコープ  
A-COOP ながめま店

